

県学給だより

岡山県学校給食会会報

OGK 子どもたちに笑顔
いっぱいの給食時
間をお届けします

第 164 号
平成22年1月1日
編集発行
財団法人 岡山県学校給食会
岡山市南区浦安本町59番地の4
TEL 086-263-6465代
URL: <http://www.ogk.or.jp/>



提供：岡山県

（虫明湾の日の出(カキ筏)）

新年あけましておめでとう
ございます。皆様には、すこ
やかに新年をお迎えのことと
お喜び申し上げます。
わが国の学校給食は、昭和
二十九年に成立し、戦後の学
校給食の復興と発展の基盤と
なった学校給食法に基づき、
学校における重要な教育活動
として定着し着実な発展を遂
げてまいりました。昨年四月
には、五十四年ぶりに法の目
的、目標といった根幹部分が
大きく改正された学校給食法
が施行されました。

新しい学校給食法は、学校
給食を活用した食に関する指
導の推進が重視され、学校給
食の水準・衛生管理を確保す
るための全国基準の法制化が
柱となっており、学校給食の
更なる普及と充実が図られて
います。また、今回の学校給
食法の改正とともに、新学習
指導要領において、「学校に
おける食育の推進」が明確に
位置づけられ、学校給食には、
地域の食文化、日本型食生活
などを伝える食育の担い手と
しての役割が、大きく求めら
れるようになりました。
私も岡山県学校給食会と
しては、「食育推進にむけて
の提案」を事業目標に掲げ、
安心を提供できる給食会とし
て、物資を厳選し、品質の高
い食材を提供していくことは
もちろんのこと、岡山の豊か
な気候風土のもとで生まれた
地場産物を使用した食材の開
発、提供に努めるとともに、
学校における食に関する指導
を支援するための提案、食に
関する情報の提供など、学校
給食の運営支援体制の充実
に、積極的に取り組んで参り
たいと思っています。
また、新しい公益法人制度
がスタートして、早や一年が
経過しました。本会では、こ
の機を、公益法人としての役
割を一層明確にし、そのある



平成二十二年・年頭所感

財団法人岡山県学校給食会
理事長 能登原 巧

べき姿を構築していく機会と捉え、給食会の全ての事業を新たな観点から見直し、公益性を高めた事業展開に努めるとともに、新しい公益法人制度における公益性の認定を受けた財団法人化にむけて、種々の準備を始めているところです。

新年の干支は「寅」、とらです。「寅」は「蟻・いん」で、動くという意味であり、春が来て草木が生ずる状態を表していると考えられています。また、寅年には威勢よく伸び払い進む、というパイオニアの意味があるといわれます。

本会も、期待される岡山県学校給食会として、給食会ならではの事業を大いに伸び進め、活気のある、新しいそして多様な「公益」を創造する年にしていく所存でございます。

本年も変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。よいことたくさん続く年でありますように……。



公益法人制度改革への取組

平成二十年十二月一日、公益法人制度改革三法が施行され全国の公益法人すべては、移行期間の五年以内に公益財団(社団)法人または一般財団(社団)法人のいずれかに移行することとなり、移行期間の終了までに移行申請を行わなかった場合は解散となります。

本会においては、法人法の要件を満たせば、登記のみで設立できる一般財団法人ではなく公益目的事業を行うことを主たる目的とする公益財団法人への移行をめざすことを機関決定し、平成二十三年三月に公益認定申請を行う予定としております。

公益財団法人への移行は法人法の要件に加え認定法の基準を満たす必要があり公益認定等委員会の審査をへて県の認定を受けることとなります。

現在、本会で策定した公益財団法人への移行申請計画にそって事業内容の公益性を高めるための対応、定款、諸規程の策定等々の諸準備を行っています。

なによりも本会の活動は設立以来公益法人として、営利目的ではなく、「子どもたちに笑顔いっぱい学校給食をお届けします」を理念に取り組んでまいりました。

本会としても公益認定を得て、県下の学校給食が円滑に実施できるよう一層努めてまいりたいと思っておりますので、今後共ご支援・ご協力お願いします。

今年もよろしく

お願いします

総務課

平素より、学校給食関係者の皆様にはご支援とご協力を賜りありがとうございます。

学校給食会を取り巻く環境は益々厳しくなり、財団法人としての役割の責任も重くなっております。

従来から実施してきた普及充実事業等、公益目的事業を継続するとともに、食育推進機関として、「食育基本法」及び「岡山県食育推進計画」

の理念に示された学校給食への新たな課題に向けて、適切に対処することが本会に求められています。

学校等で実施される食育の

推進事業の支援、公益性のある普及充実事業の推進の実施、地場産物の供給体制の充実と整備、食育情報の発信等に努めることが必至であります。

また、総務課においては、従来の業務である本会の管理事務、請求事務、経理事務の効率化を図るとともに、信頼できる処理に努めてまいりたいと思っております。

本年も、皆様からのご支援とご協力をいただき、新たな気持ちで県下の学校給食の骨子として、業務に取り組み頑張っておりますので、よろしくお願いたします。



本会事務所

物資第一課

皆様方には、県学校給食会

の取扱い物資につきまして御理解をいただき、ありがとうございます。

平成二十一年度は、本会も「食育推進にむけての提案」を強力に進めていくため、新組織でスタートしたところで、本年度から新たに創設の物資第一課は献立支援部門として、受注から配送計画、納品までの窓口として担当させていただきます。

また、新たに地場産物を使用した物資、新規取扱物資の提案及び学校給食用物資としてふさわしい物資の開発並びに現行取扱い物資の規格の見直し等、今まで以上に、今年提案させていただければと考えております。物資第一課職員一丸となって頑張りますので、よろしくお願いたします。

今後取扱物資についての要望及び改善等の提案がございましたらいつでも御連絡ください。

本年も、引き続き御理解と御協力をお願いします。



物資第二課

岡山県学校給食会の取扱物資の安全・安心を確保して、基本物資の安定供給・内容の検討を行ない充実を図ってまいりたいと思います。

取扱物資を定期的、計画的に抜取り検査を実施します。細菌検査等をするだけでなく表示のチェック、重量の確認等も行ないます。食品検査結果は、従来どおり随時お知らせします。

給食会で検査等を行うことにより、学校給食に係わる者に衛生管理等の徹底を図っていただき、より良い製品を製造し、その良い物資を学校給食現場にお届けをしたいと思えます。

拭取り検査も、希望される学校栄養士会各支部単位ごとに、また委託加工工場に対して実施をすることにより、衛生管理の充実、徹底および食中毒の防止等に努めて行きたいと思えます。



食育支援室

あけましておめでとうございませう。

岡山県学校給食会では学校における食育推進の支援活動の一環として、先月、給食週間の食育授業等に御利用いただけるとともに「学校給食のあゆみ」と裏面には「岡山県の郷土食」を載せたリーフレットを市町村教育委員会宛に、全児童生徒数分の配布を終えました。



このような、リーフレットは、学校における食育推進の一助となるように、毎年作成する予定です。どうぞ、ご期待ください。

第六十回全国学校給食研究協議大会

平成二十一年十一月二十六日・二十七日に滋賀県大津市「大津プリンスホテル」に於いて「第六十回全国学校給食研究協議大会」が開催されました。



全国学校給食会連合会 小野会長 挨拶

文部科学大臣表彰式では「岡山市学校給食会」を含む二十七学校、十一共同調理場、二十名の個人、二団体が表彰されました。おめでとうございます。

文部科学省説明では、スポーツ・青少年局学校健康教育課の松川課長が「学校給食の役割と食育の推進について」と題し、食育推進や事業仕分による予算の縮減等、興味深い説明でした。



文部科学省 松川課長の説明

実践発表では滋賀県守山市立森山小学校の先生が「食を身近に感じ、豊かな心と体を育む子どもを目指して」と題し「楽しむ・体験する・考える」をテーマに食育を推進した成果を発表されました。



森山小学校の実践発表

特別講演では京都大学大学院の伏木教授による「子どもにとっての食を考える」をテーマに「1970年代には日本人は世界の理想となる健康的な食事をしていた」とか「日本人は欧米人に比べ肥満が少ないがそれは血液中の余った栄養を皮下脂肪等に変換できずに痩せたまま糖尿病になつてしまふ人が多い」等、有意義な講演でした。



伏木教授の講演

二日目(二十七日)の第十分科会において岡山県学校給食会の藤田事務局次長が「安全で安心できる物資の取扱に当たって」と題し、物資選定と資料整備、食品検査、トレーサビリティ体制の整備、関係者の安全意識の高揚等について岡山県学校給食会の取り組みを全国発信いたしました。

なお、来年の全国大会は、香川県で開催される予定です。

おめでとうございます

平成二十一年度
学校給食文部科学大臣表彰
岡山県の受賞者は次のとおり
です。

財団法人岡山市学校給食会

(団体)

平成二十一年度学校給食
文部科学大臣表彰を受賞して

財団法人 岡山市学校給食会

事務局長 柴山 勲

この度「平成二十一年度学
校給食文部科学大臣表彰」の
受賞に当たり、理事長代理と
して晴れがましい授賞式に出
席した。本給食会の寄付行為
によると、「この法人は、岡山
市内小中学校の学校給食の円
滑な運営と実施及びその発展
に寄与することを目的とす
る」とあり、事業について、
その中心は「学校給食用物資
の共同購入」にあると規定さ
れている。そのために本給食
会は「良質な学校給食用物資
を、低廉な価格で安定的に斡
旋すること」を誠実に追求し
ているだけで、特別な工夫と
か取り組みをしているわけは
ない。それが結果として
「児童生徒・保護者と学校給

食関係者に信頼されること」
につながればと願っている。
したがって、本給食会の活動
は全国の学校給食会と何ら変
わらず、今回の受賞も全国の
学校給食会を代表してのもの
だと解釈している。
今後とも気負うことなく、「良
質な食材を、低廉な価格で、
安定的に斡旋する」を目標に
がんばりたい。

職場体験学習の

受け入れについて

今年度は、芳泉中学校「わ
くわくWORK芳泉」(十一
月十一日〜十三日)の受け
入れを実施しました。



手指の細菌検査

主な体験内容は、物資の取
扱いの流れに沿って、「検査」
「配送集計」「仕組み」「配送」
を体験してもらいました。
生徒さんからは、「仕事は

とてもやりがいがあるけど、
責任が伴う」、「給食はとって
も苦労して食材を運送し、調
理されているからこれからは給
食を残すのはやめようと思
う」、「この体験で仕事の大変
さがわかった」、「この体験で
自分に自信がついた」などの
感想がありました。
職場体験を通して働くこと
の大切さ、大変さ、喜びを理
解していただき、将来に役立
てていただければ・・・と感
じた三日間でした。

保護者の地場産物

調理講習会

平成二十一年十二月十六日
に岡山県学校給食会で「保護
者の地場産物調理講習会」を
開催いたしました。
当日は、玉野市小中学校の
保護者の方三十七名が参加さ
れました。

岡山県教育委員会の横山指
導主事による地場産物利用の
考え方や朝食の重要性等有意
義な講義の後、施設見学をし
ていただきました。

地元、玉野産、岡山県産の
地場産物を使用した学校給食
で実際に使用されている献
立、「太巻き寿司、牛乳、カ
ラフルかき揚げ、瀬戸内、だ
んごのおすまし、冬瓜マフィン」
を調理し、会食するなどして
学校給食の重要な役割を理解

していた、たく機会を提供しま
した。



調理実習

食品検査

平成二十一年十一月の食品
検査実施状況は、表のとおり
です。

その結果、一四四検体全て、
異常のないことを確認しまし
た。

また、冷凍鮮魚介類につい
てヒスタミン(青身魚を中
心)、ノロウイルス(二枚貝
および二枚貝を含むもの)、
主だった輸入野菜類等の残留
農薬について委託検査を実
施し、異常のないことを確認
しました。

一個当たり(一食当り)の重
量、表示についても、チェツ
クをおこないます。
食品検査をすることによ
り、安全な物資が、提供でき

るよう努めてまいりますの
で、なお、一層の県学校給食
会の物資の御利用をよろしく
お願いいたします。

区分	品名	検体数	検査内容	備考
パン	学校給食用パン	20	品質(外観、内相)	特記事項なし
乳製品	角チーズMBP	1	乳等省令(乳固形分、大腸菌群)、一般細菌数、大腸菌、食中毒菌(病原性大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌)、塩分、保存料(安息香酸、パラオキシ安息香酸、ソルビン酸、デヒドロ酢酸)	*
調味料	フレンチドレッシングN、しそドレッシング、和風カレールー(フレーク)、ビーフシチュー、タルタルソース、他	6	一般細菌数、大腸菌群、大腸菌、食中毒菌(病原性大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、腸炎ビブリオ、セラウス菌)、保存料(安息香酸、パラオキシ安息香酸、ソルビン酸、デヒドロ酢酸)、塩分	*
漬物	福神漬(国産原料使用)、わり梅	2		*
缶詰	甘夏みかん1号缶、地養鶏パイヨン、国産ぶどう(デラウエア)、国産ひじき	4		缶庄
冷凍食品	国産いんげん、いわしミンチ、冷凍プリン、ハートプレーンオムレツ、スクールがんもどき、他	84		*
その他	りんごジャム、角切昆布、ちりめん、パン粉、ココアテイスト、他	27		*
	太刀魚フライ、子持ちしゃも、かつお角切り、切身、かき、きくらげ、カリフラワー、他	51	ヒスタミン、ノロウイルス、残留農薬	*